

第2期 開講
密度の高い
2回の合宿

公 共 図 書 館 員 の

タマシイ塾

<http://t-juku.org/>

異業種の達人や図書館の課題解決支援サービスのパイオニアを招き、
ワザだけでなくタマシイに学ぶ(真似ぶ)場

太平洋戦争が勃発したとき、アメリカ合衆国内の日系人は、家々から追い立てられ、収容所に送られました。そんな日系人の子どもたちはきっと本を求めているに違いないと考え、収容所に子どもの本を送り始めた勇氣ある司書がいました。この司書には、間違いなく公共図書館員のタマシイがあったといえます。そして、このような活動こそ、そのときの子どもたちのもっとも切実な課題にこたえる「課題解決支援サービス」であったはず。

技術や知識だけでなく、このようなタマシイをもった図書館員を育てたい。図書館経営がそのような人材を見出すための場づくりをも視野に入れ、第2期を開講します。

塾生の達成目標

- (1) 図書館がある地域の人々のニーズに合ったサービスをプロデュースできるようになること。
- (2) そのために地域のコミュニティと積極的に関わったり、課題を共有する図書館員(とその協力者)のコミュニティをつくったりすることを通じ、共に解決策をみつけていく力を身につけること。
- (3) ひとりでも始めることやリーダーになることを恐れず、最後までやり遂げる意志を持ち続けること。

対象者及び募集定員

公共図書館を住民に真に役立つ機関とするために働こうという強い意欲がある図書館員、図書館勤務経験者及び図書館の開設・経営に従事する者。正規と非正規あるいは公務員と民間企業・団体職員とを問わない。

定員20名。

開催地である長野県在住者及び滋賀県在住者各5名、計10名程度の優先枠を設ける。インターネットによりメールや電子掲示板が自由に使用できる環境があることが望ましい。

参加費

20,000円

※1泊2日×2回の合宿宿泊費等としていただきます。
※昼食代、懇親会費、交通費は各自負担となります。

交通費助成制度

私費で参加する受講者に対しては、負担する交通費の額に応じて、各合宿1回当たり、最大1万円以内の交通費を助成します。なお、最終助成額は応募状況により決定します。

開催日・開催場所

[第1回合宿] 11月28日・29日(1泊2日)

長野県北佐久郡軽井沢町周辺

《鉄道をご利用の方へ》28日はJR軽井沢駅に12時までに到着するようご計画ください。29日は軽井沢駅に18時までに到着できるように設定いたします。

[第2回合宿] 2月13日・14日(1泊2日)

滋賀県東近江市周辺

《鉄道をご利用の方へ》13日はJR近江八幡駅に12時までに到着するようご計画ください。14日は近江八幡駅に18時までに到着できるように設定いたします。

内容(仮題)

図書館員という仕事を問い直す／課題解決支援の本質／図書館プロデュースの実際／企画とコンセプトメイキング／そもそもプロ

デュースとは／コミュニケーションとしてのレファレンス／地域コミュニティにコミットする／地域を変える図書館活動／図書館と協働する住民活動

※1 ワークショップ中心の実践的な内容です。

※2 第1期の内容は下記URLでご覧いただけます。

<http://t-juku.org/lecture.html>

講師(現在、決定している方)

[特別講師] 西村佳哲氏(プランニング・ディレクター、働き方研究家)

[企画運営委員(講師兼任)] 小林卓(実践女子大学)・佐久間美紀子(静岡市民)・嶋田学(東近江市立永源寺図書館)・豊田高広(田原市図書館)・満尾哲広(株式会社シェアード・ビジョン)・森田秀之(株式会社マナビノタネ)・吉田倫子(横浜市都築図書館)

応募方法・問い合わせ先

下記URLの「入塾要領」にある申込書に記入し、課題作文とともに10月14日 17時までにメール送付ください。

<http://t-juku.org/>

申込が定員を超えた場合は、申込書の記入内容、課題作文をもとに企画運営委員会で選考し、10月25日までに通知します。

事務局 株式会社マナビノタネ タマシイ塾担当
info@manabinotane.com

主催 「公共図書館員のタマシイ塾」実行委員会

※本事業は、財団法人図書館振興財団の図書館員専門職育成助成を受けて実施しています